

# 京都大学

大学案内  
2017



知と自由への誘い



知と自由への誘い

## Message from the President

# 世界に羽ばたき、 地球社会の共存に 貢献しようとする 高い志をもつみなさんへ

本年度創立119年を迎える京都大学は、日本を代表する総合大学として10学部に加え充実した大学院や全国一を誇る研究所群を擁しています。また、「対話を根幹とする自学自習」によって創造の精神を涵養する世界最高水準の学びの場を提供しています。これまで累計で202,725名の卒業生を世に送り出し、多くの卒業生が学術分野のみならず、産業界、官界など様々な分野で活躍しています。

みなさんが京都大学で学ぶことはなにもにもかえがたい経験となるはずで、京都は世界に誇る歴史と文化の都です。みなさんは千年以上続いた日本の文化や伝統を肌で感じつつ、それを革新していく姿勢を京都の地で学ぶこととなります。古典から現代先端技術にいたるまで幅広い知識を身につけ、大局的のものを見、自由に発想できるようになるためには、旺盛な知識欲を満足させる優れた教育環境と学んだことを我が物とする沈潜の時が必要です。現に各界で活躍する卒業生は、京都大学で学んだからこそ、学問を通じて、学問の源流や本来あるべき人間社会の姿というものに思いをはせつつ、確固たる人生の礎を築くことができたと異口同音に語っています。

京都大学では、人文学、社会科学、自然科学の各分野で様々な独創的な研究がなされています。本学の研究の多様性とユニークさは群を抜いており、霊長類研究やiPS細胞研究などはその一端を示すものにすぎません。これらの先端的研究を担う研究者たちが、初年次教育から連携して参加し、全学体制で基礎・教養教育を行うのが京都大学の特色です。みなさんは、1年生からの少人数ゼミ「ILASセミナー」などを通じて、独創的な研究を行っている研究者から最先端の研究の手ほどきを受けることになります。

人間は地球上の小さな存在ながら、その行いが地球全体の様相を変える可能性を秘めた存在です。その可能性と責任を胸に、将来世界を舞台に活躍するリーダーとして地球社会の共存に貢献しようという高い志を持つみなさん。自由で知的刺激にあふれた大学、京都大学はみなさんの未来の飛翔のための翼を整える大学でありたいと総長として願っています。ぜひ、京都大学でそのときを迎えてください。



京都大学総長  
山極 壽一



京都大学の初代総長木下廣次は、履修科目の選択肢を広げるなど、学生の自立的性を尊重した教育方針を採用したことで知られている。京都大学創立後最初の入学宣誓式において、木下は「大学学生に在りては自重自敬を旨とし以て自立独立を期せざるべからず」と述べている。



# Kyoto University Guide Book 2017





**京都大学の基本理念(抜粋)**

京都大学は、創立以来築いてきた自由の学風を継承し、発展させつつ、多面的な課題の解決に挑戦し、地球社会の調和ある共存に貢献するため、自由と調和を基礎に、ここに基本理念を定める。

**教育**

京都大学は、多様かつ調和のとれた教育体系のもと、対話を根幹として自学自習を促し、卓越した知の継承と創造的精神の涵養につとめる。

京都大学は、教養が豊かで人間性が高く責任を重んじ、地球社会の調和ある共存に寄与する、優れた研究者と高度の専門能力をもつ人材を育成する。

(平成13年12月4日制定)

**京都大学アドミッション・ポリシー**

京都大学は、日本の文化、学術が育まれてきた京都の地に創設された国立の総合大学として、社会の各方面で活躍する人材を数多く養成してきました。創立から1世紀以上を経た21世紀の今日も、建学以来の「自由の学風」と学術の伝統を大切にしながら、教育、研究活動をおこなっています。

京都大学は、教育に関する基本理念として「対話を根幹とした自学自習」を掲げています。京都大学の目指す教育は、学生が教員から高度の知識や技術を習得しつつ、同時に周囲の多くの人々とともに研鑽を積みながら、主体的に学問を深めることができるように教養をすることです。なぜなら、自らの努力で得た知見こそが、次の学術展開につながる大きな力となるからです。このため、京都大学は、学生諸君に、大学に集う教職員、学生、留学生など多くの人々との交流を通じて、自ら学び、自ら幅広く課題を探索し、解決への道を切り拓く能力を養うことを期待するとともに、その努力を強く支援します。このような方針のもと、優れた学知を継承し創造的な精神を養い育てる教育を実践するため、自ら積極的に取り組む主体性をもった人を求めています。

京都大学は、その高度で独創的な研究により世界によく知られています。そうした研究は共通して、

多様な世界観・自然観・人間観に基づき、自由な発想から生まれたものであると同時に、学問の基礎を大切に研究、ないし基礎そのものを極める研究であります。優れた研究は必ず確固たる基礎的学識の上に成り立っています。

京都大学が入学を希望する者に求めるものは、以下に掲げる基礎的な学力です。

1. 高等学校の教育課程の教科・科目の修得により培われる分析力と俯瞰力
2. 高等学校の教育課程の教科・科目で修得した内容を活用する力
3. 外国語運用能力を含むコミュニケーションに関する力

このような基礎的な学力があってはじめて、入学者は、京都大学が理念として掲げる「自学自習」の教育を通じ、自らの自由な発想を生かしたより高度な学びへ進むことが可能となります。

京都大学は、各学部の理念と教育目的に応じて、その必要とするところにしたがい、入学者選抜における教科・科目等を定めており、望ましい基礎的な学力を備え、京都大学の学風と理念を理解して、意欲と主体性をもって勉学に励むことのできる人を、国内外から広く受け入れます。



CONTENTS

<b>Focus</b>	<b>学部紹介</b>	<b>教育を支える施設</b>	<b>入試関連資料</b>
002 京都大学人物伝	018 ■総合人間学部	064 情報環境機構	080 入学者選抜実施状況について
<b>京都大学の教育</b>	022 ■文学部	065 図書館	081 合格者最高点・最低点 多様な入学制度
004 アカデミック・カレンダー	026 ■教育学部	<b>さらなる飛躍を支援</b>	082 出身高校等所在地別志願者・入学者数
006 京都大学の教育システム	030 ■法学部	066 国際交流	<b>教員の研究テーマ紹介</b>
008 京都大学の教養・共通教育を担う 「全学共通科目」	034 ■経済学部	068 大学院進学	083 教員の研究テーマ紹介
010 ILASセミナー	038 ■理学部	070 就職支援	<b>お問い合わせ・その他</b>
014 京都大学特色入試	042 ■医学部 医学科	072 男女共同参画推進センター	096 オープンキャンパス・京都大学説明会・ 大学合同説明会
	046 ■医学部 人間健康科学科	<b>学生生活サポート</b>	097 学生募集要項等の請求方法
	050 ■薬学部	074 学生生活を支援する制度や施設	098 キャンパスマップ・交通案内
	054 ■工学部	<b>京都大学について</b>	
	058 ■農学部	077 京都大学について	
	062 Student voices	078 <b>クラブ・サークル</b>	



# FOCUS

京都大学人物伝  
Outstanding Kyoto University Graduates

A world of new discoveries

**YASHIKI  
YOTARO**

2016年のNHK大河ドラマ『真田丸』のチーフ・プロデューサーとして  
チームをまとめ、新鮮な感動を提供し続ける屋敷陽太郎さんに  
京大で培ったものと現在のお仕事との関係についてお話をいただきました。

人と人とを結ぶゆたかな人柄とバイタリティで  
テレビドラマの新しい地平を拓く



## 幼いころから京大志望、 決め手は高坂正堯先生との出会い

この大学を初めて意識したのは小学一年生のときです。京大出身の父に家族旅行で京都へ連れて来てもらい、将来必ずここへ来るんだと言われたことを覚えています。楽友会館でランチを食べていたときのことです。それからしばらくして国際政治学の高坂正堯(こうさかまさたか)先生が講演のついでに富山県氷見市のわが家へ立ち寄られたことも京大への憧れを大きくするきっかけとなりました。高坂先生から学びたいと思うようになったのです。高校生生のときに先生の著書『世界地図の中で考える』(新潮選書)を読み、世界史なのに生物みたいだと強く感銘を受け「絶対にこの先生のもとで学びたい!」と強く願うようになりました。

3年生になって高坂ゼミに入れたときは、京大進学目標のひとつが達成でき、とても嬉しく思いました。ちなみに、人気のあった高坂ゼミに入るには英語力がクジ引きか、どちらかをクリアしなければなりません。なぜなら、先生のモットーが「人生は、実力と運」だったからです。私はみごと、クジ引きで入りました(笑)

## ドキュメンタリー志望でNHKへ、 しかし配属先はドラマ部門

いろんな会社を覗いてみようと思った皆さんの企業を訪問しました。すると行く先々で面白い体験ができたのです。例えば海運会社で船の話や詳しく聞いたり、化学系の会社では薬の仕組みを尋ねたり、そうしているうちに話を聞いて回る仕事も面白いと思うようになりました。この経験がNHKへの就職にもつながっていきます。きっかけは仕事内容を聞くことができる無料セミナーに参加したことでした。そこで登壇した方が仕事の話やせずに1時間あまり別れた彼女について語ったのです。それを許す会社は素晴らしい、京大に通じる自由さを感じました。

NHKに入れたらいろんなものを観てやろうと思いました。子どものころはNHK特集の『シルクロード』、学生時代は『電子立国日本の自叙伝』のファンでしたからね。

入社してすぐドラマ部門に配属が決まりました。配属になった4人のうち3人はドラマ志望ではありませんでした。でも、いま残っているのはその3人。ドラマを第一志望にしていただければいい報道で頑張っていますから、志望と適正は必ずしも一致しない。それも人生の面白さなのでしょう。

この仕事も20年以上続いているので適性があったのかもしれませんが、30歳のころに本気で辞めようと思ったことがあります。そのころは助監督を楽しくやっていたのですが、やはり政治学者かなと思って留学を考えたのです。英語は苦手ながらTOEFLを受けていくつかの大学に願書を出し、受かったらNHKを辞めると上司に話しました。すると、もうちょっと我慢しろといわれ、代わりに会社からハリウッドへ一年留学に行かせてもらうことになったのです。

## ハリウッドで知った ビジネスとしての映像コンテンツ界

ハリウッドでは、映画学校に通って短編映画を撮影したり制作現場を見たり、映像について学びました。そして、知れば知るほどやる気が失せていきました。なぜなら日本の映像産業とのギャップが大きかったからです。日本ではいまだに映画やドラマづくりは好きな人が趣味でやっていると思われているところがあります。実際に撮影は早朝から深夜に及ぶところもあります。でも予算などの制約があつてそれ以上日数をかけられない、それが現実です。

ハリウッドのすごいところは映画オタクだけではなく、それでしっかり儲けようとする人がいる、つまりビジネスとして成立しているという点です。たとえば市街地の撮影にしてもハリウッドなら警察にお金を払えばどこでも完全に封鎖してくれます。が、日本では道路の使用許可を取っていても一般の通行者を止めることはできません。

アメリカでは弁護士物の映画やドラマが有名ですが、なぜあれだけ面白いのかというと、司法試験に通った本物の弁護士が台本を書いているからなんです。日本では司法試験に通った人が脚本家になりました。でもアメリカなら弁護士より大き

い成功を手にすることもできるのです。日本の映像コンテンツ産業をハリウッド並みに、それはずっと思い続けています。

## チームの力を引き出すことが チーフ・プロデューサーの仕事

企画を考えるにしろドラマを作るにしろチームワークを進めます。ハリウッドの映画学校では自分の企画に賛同してくれる人が見つからないと次の学期に進めませんでした。同じ思いを持つ仲間を何人集められるか、その大切さは日本も同じです。

チームには専門性やオリジナリティを持つ優れたスタッフが集まっていますから、彼らの持っているものをどう生かしていくか、それが私の仕事です。ところが、すべてをやろうとすると取捨がつかなくなるので、どこを抑えてどこを持ち上げるか、予算がなければどこから取ってくるかを検討する、私自身はあくまで調整型のプロデューサーだと思っています。ただ、常にジャーナリストではありたいですね。時代劇にせよラブロマンスにせよ、現代の視聴者に向けて現代を生きる我々が制作しているのですから、自分は何を知りたいのか、それをどう伝えるのかという視点が不可欠だと感じています。そのためにも広範な分野の本を読み、現場を歩きまわり、ドラマ業界以外の方々と出会う。それを楽しみにしています。

## 行動で広がった人とのつながり、 大学4年間はかけがえのない宝物

将来のことはあまり深く考えず、ただただそのときに面白いと感じたものに熱中していました。4回生の春までは就職のことすら考えていませんでしたからね。

サークル活動もやりましたよ。ひとつは法律相談部で、毎週土曜日に地元の方の無料法律相談を行いました。持ちこまれる問題の多くは土地と相続で、いま裁判官や弁護士になっている友だちが答えていました。私には答えられませんが、依頼者から話を聞き出すのだけは褒められましたね。取材の楽しさを感じていたのかも知れません。

ほかには法学部の卒業生や学生、教員の親睦団体である有信会の学生委員をやりました。年に一度の会誌を発行したり同窓会の総会を運営したり。会誌では法曹界で働くOBの取材や座談会が例年は組まれていましたが、もっと刺激的なコンテンツをと考え、京都駅再開発で話題になっていた景観問題について特集を組み、京大OBの建築家や工学部の教授に話を聞きにいき、記事としてまとめました。

法学部の地下書庫で学術誌を整理するバイトもやりました。先生方が過去に書かれた論文をじっくり読めたことは幸せとしか言いがありません。

お酒も結構飲みましたよ。先輩や先生との飲み会が多かったように記憶しています。高坂ゼミもゼミの日は毎週近くの安い居酒屋へ出向き、先生を囲んで飲みました。有信会学生委員のOBには当時の助教授や助手、大学院生の先輩(現在は京大をはじめ、近隣諸大学の教授としてご活躍中)が多かったこともあり、若手の研究者の方々と飲み会も毎週のようにありました。先生と学生との距離の近さは京大ならではのいえるところです。

そういった先生方との政治・経済・社会・文化、そして人生全般についての議論は、私の視野を広げてくれました。本当に貴重な宝物です。

## 京都への憧れと独自の学習で開いた京大の門

子どものころから京大へ行く決めていましたが、京都に住んでみたいという気持ちも強かったですね。こう見えて意外にロマンチストで、八ツ橋屋の二階に下宿して舞妓さんと恋に落ちるというストーリーを思い描いていましたし、哲学の道に近い白川通り沿いのアパートに住みたいとか、お坊さんと友だちになりたいとか、いろんなイメージを膨らませていました。

高校2年生の夏休みに一人で京大を見学に来ました。キャンパスに入るとどこからか音楽が聞こえてきて、とても雰囲気よかったことを覚えています。もし落ちて京都で浪人をしようとしたとき決めました。

当時の富山には予備校もなかったので普段の勉強は学校の授業が中心でした。必死に勉強しましたが、

いわゆる問題集を解くことはあまりしませんでした。その代わりに英語ではサマセット・モームなどの原書を読み、国語や古典対策としてたくさんの名作や原文を読破しました。なぜなら京大の問題ってざっくりとしているでしょ。問題集を解くより原文、原書を読んでおいたほうが解けそうな気がしたのです。まず自分で考え、どうアプローチするか、それが回答にどう結びついているかを見る、と入学後に聞きました。

法学部の試験には論文があつたのですが授業で習ったわけではありませんから一発勝負でした。試験の前にふと斜め前の席を見ると、座っていた女の子が論文の決まりのようなメモを読んでいて、なるほどそう書くんだと感心したことを覚えています。

## 失敗しても乗り越えていける力がつく、 それが京大

大学の4年間は好きなことを何でもやって、興味の趣くままに掘り下げていけばいいと思いますし、京大はそれに応えてくれる大学です。という今の受験生や保護者の皆さんは落ち着かないかもしれません。

でもいまの大学生を見ていると大学が就職予備校になっているような気がします。この厳しい時世とはいえ、中学高校のときに人生を決めなければ、というような風潮は疑問に感じています。思い返せば私なんて本当にのんびりしていました。ただ私なりに自分自身やいまの仕事と向き合ってきたのは、京大での4年間、現実社会と少し離れたところで迷いまくりながら色々なことに挑戦し、失敗を乗り越えてきたからだだと思います。やはり大学は就職の準備ではなく勉強をするところだと思います。大学で学んだリーガルマインドや政治経済で学んだ歴史やものの考え方は、20数年たつたいま役に立っているような気がします。

大学生になったら失敗を恐れずいろんなことに挑戦し、自分で工夫して考えて、ときには仲間と協力しながら乗り越える経験を積み重ねてください。京大も京都の街も寛容に受け止めてくれるはずですよ。参考までに、ドラマづくりで役立つのは、成功体験ではなく恥づかしい失敗だったりします。さあどうぞ自信を持って。

## A world of new discoveries



NHK制作局  
ドラマ番組部 チーフ・プロデューサー 屋敷 陽太郎

1993年 法学部卒業  
1970年富山県生まれ。1993年NHK入局、ドラマ番組部に配属。2000年から1年間、ハリウッドで映画制作の実務を研修。連続テレビ小説『私の青空』、『クワイマーズ・ハイ』、大河ドラマ『新選組!』、『篤姫』、『江〜姫たちの戦国』、ドラマ10『ガラスの家』などを手がける。土曜ドラマ『64(ロクヨン)』で「平成27年度(第70回)文化庁芸術祭 テレビ・ドラマ部門大賞」を受賞。現在、大河ドラマ『真田丸』の制作統括。



# アカデミック・カレンダー (平成28年度)

- オリエンテーション
- 紅萌祭(4/4~6)  
京都大学応援団主催の新入生歓迎イベント
- 入学式(4/7)
- 健康診断
- 前期授業開始・履修登録



- 音楽会(6/17)  
創立記念の課外教養行事。  
毎年著名な音楽家等を招いて開催しています。
- 創立記念日(6/18)

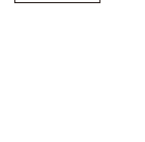
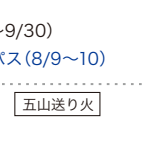


- 全国七大学総合体育大会開会式(7/2)  
通称七大大戦。日本を代表する7つの国立大学が  
合同で開催している体育大会。  
前年の12月から9月の閉幕まで多数の競技が  
行われます。
- 前期試験・フィードバック期間(7/22~8/4)



祇園祭

- 夏季休業(8/5~9/30)
- オープンキャンパス(8/9~10)



- 前期終了



## Academic Calendar



## 重層文化都市「京都」で過ごす京都大学の一年。

平安建都以来1200年の歴史を奏でる古都—京都の中に息づく京都大学は、三方を山に囲まれた京都盆地のうえに主要な3キャンパスが所在しています。京都に残る自然や数多くの文化財は、そこに集まる人々の内面的対話と探求を支え、新しい文化を育んできました。京都大学は地域との連携のもとにその文化を世界に発信しています。ここでは、美しい四季の変化、古都の文化・伝統とともに過ごす京都大学の一年を紹介します。



※学部により試験期間等が異なる場合があります。また、都合によりスケジュールは変更となる場合があります。